

こすど公民館報

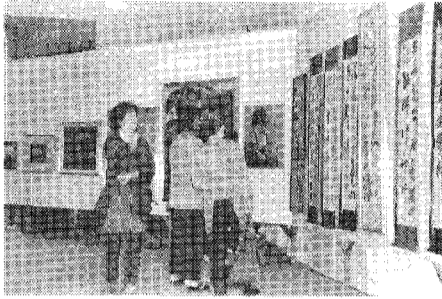
小須戸町公民館 知日印刷所
発行所 野良 15日
発行日 月部 15部
発行部 昭栄堂印刷所

文化祭行事、盛大裡に終了す!! 美術展覧会を中心に多彩な行事

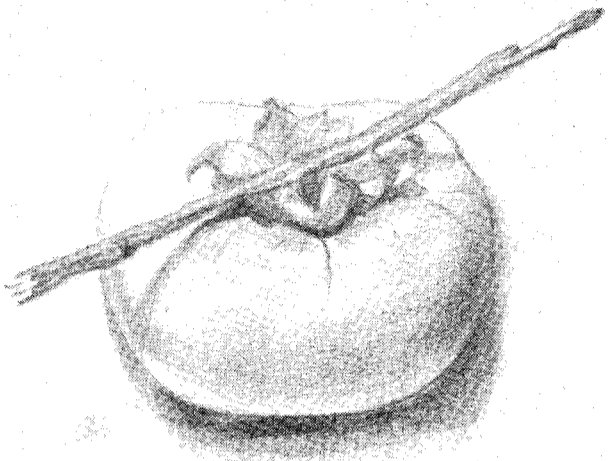
～ 菊花展など協賛行事も沢山行わる～

例年、文化の日には天候に恵まれてきたが、今年は前日まで雨にたられ、関係者を心配させたが当日はカラリと晴れ渡り、絶好の小春日となった。恒例の文化祭行事は十一月三日～四日の二日間、多彩な催し物を盛大に繰り広げた。

年々盛大になる恒例の文化祭行事も、無事二日間の会期を終了。中央公民館を中心とした行事、各小中学校・幼稚園等の児童生徒作品展や近郷親善の柔剣道大会など、多数の行事が催され、各会場とも多数の出入が得られました。まず、中央公民館三階では、文化協会主催の美術展覧会が催され、例年になく絵画・書道・写真など内容が一段と充実され、一方では初心者？が出品しにくいとの声も出る仕末。また、二階では農村婦人講座の元々娘さんたちの



フアミリーレストランが大盛況。他に喫茶店、青緑の部屋もまあ／＼の入り。一階では無線クラブの五周年記念局が開設。図書室も開放されて生



思い出出港

おやまつしろう

沖の灯台をぬって
白い巨体が目の前に浮んだ頃
白いかもめが船にまつわりついて
悲しい恋の歌をうたった
港ヨコハマ D号棧橋
潮風のおいが想い出にゆさぶりをかけ
霧笛がよぶあの船の名を
どよめきの中にデッキの人の顔
ハイ、メアリー
暗い闇の中に目を覚ました夢
あの頃の幻 ああの頃の影
追いかけても戻らない
ひとかけらの人の世
けがれを知らなかつたひととき
もう今は晩秋そしてすぐ雪

レクリエーションのつどい開催!! 楽しく遊びませんか?

日時 十一月一日(土) 午後一時三十分より
会場 中央公民館三階大ホール
対象 小学生以上、父兄大歓迎!
して町園芸クラブの菊花展、植木盆栽展が行われ、最優秀賞を得ました。特別に評判の良かったのが、青年学級恒例のモチつき大会。なにしろ、タダダより安いのはないの例えどおり、新米のつきたてが食べられるとあって、つきあがる後から手が出てくるので係は大変だったとのこと。このほか、協賛行事と

新日新報社賞 栗林 ハル
このほか、クラシックとジャズの両部門でのレコードコンテストなども併せて行われたり、一週間運らせてサークルつくしんぼの手作りの人形劇が公演され、中央公民館では、今後このよ様な文化面での充実をはかるため、町民各位の要望をとり入れた講座・教室を開催したり充実させる方針をとる予定であります。

第三回近郷柔剣道大会行わる

剣道で一般男子久々の優勝!!
中学生女子が惜しくも準優勝!!

文化祭行事恒例の標記大会が、柔道は中学校屋内運動場、剣道は小須戸小学校屋内運動場において開催されました。小須戸町関係の成績は次のとおりです。
特別に、一般男子の部で小須戸剣道のBチームががんばりました。

◎剣道
一般男子団体の部
一位 小須戸剣道B

◎柔道
中学校団体の部
二位 小須戸中学校
一位 河内亮
三位 清水正信
一般個人
三位 清水正信

各種球技大会行わる

総合スポーツもほぼ終了す
バドは協会創立初の大会!!

◎庭球大会二題
去る九月二日、総合グラウンドで五十五チームが参加して盛大に行われた成績は次のとおり。
男子Aクラス
一位 小柳・藤崎組
二位 久保田・渡辺
三位 名沢・野崎
佐藤・丸山
男子Bクラス
一位 森山・平間組
二位 吉沢・加藤
三位 小杉・相沢
狩谷・秋山
女子Aクラス
一位 坪井・真保組
二位 横山・本間
三位 時田・小柳
小林・柏
女子Bクラス
一位 吉田・内山組
二位 生野・藤井
三位 高井・山崎
小出・渡辺

◎バレーボール二題
△町民大会
去る十月二十一日、町民体育館において男子六人制、女子九人制で行われた。
男子バレー
一位 小須戸クラブ
二位 鎌倉Aチーム
三位 鎌倉Bチーム
女子バレー
一位 KMV
二位 鎌倉チーム

無線クラブから 町民各位へ

会長 木伏孝吉

最近、町内において、十五メートルを越える鉄塔がアマチュア無線クラブ会員に普及してあります。近所の方々においては、落雷等の心配が絶えないことと思いますが、クラブとしても、充分な指導を行い、災害のおこらないように取り組んでおります。避雷針においても、接地抵抗十オーム以下の基準におさえ、落雷に対する対策を重点に行っております。なにとぞ、ご理解のほどをよろしくお願ひ申し上げます。なお、不審な点がありましたら、いつでも中央公民館内事務局へご連絡下さい。

三々 横川ミックス
△婦人バレー大会
第二回婦人バレーボール大会が、去る十一月十一日、町民体育館において行われ、小須戸分館のKMVが圧倒的な強みをみせて優勝した。
一位 KMV
二位 横川ミックス
三々 ダイヤモンド

◎バドミントン大会
同協会創立後、初の大会とあって昨年に倍する参加者を得、盛大に開催された。
成績は次のとおり。
シングルAクラス
一位 渡辺 欣一
二位 平田 祐一
三々 渡辺 晶
シングルBクラス
一位 村山 文子
二位 木伏 道雄
三々 保科 正人
ダブルス(男子のみ)
一位 渡辺・白井組
二位 入倉・柳瀬組
三々 五十嵐・平田組

国民年金移動相談所が開設されます

自分の年金で、老後の暮しをたていく年金時代がやってきました。皆さんが年金制度の内容を充分に知り、みんなが年金に加入して豊かな老後に備えるため次々と相談所を開きますので、気軽においでください。
日時 十一月二十一日～二十二日
午前十時～午後三時まで
会場 役場相談室
※当日は新郷社会保険事務所の年金専門官が皆さんのご相談に応じます。

交通安全 事故続発!!

いのちは一つ・大切に!!

死亡事故が十月二十九日降雪の時期を控え、一日から十一月四日までの一週間連続発生し、十三人が死亡しており、このまま推移しますと、例年取締り強化を行いますが特に飲酒運転、無謀運転交通弱者の保護等に充分注意しましょう。

当町でも一月から十月には死者一事故件数二十件、傷者二十四名で、最近特に多発しています。「一杯くらい」は悪魔のささやき

青少年健全育成チャリティー公演!!

新制作座公演を町ぐるみで取り組む

『維新の青春群像』
嵐の中の男たち 三幕六場
颯風時代

日時 十一月三日(日)
開場 正午
開演 午後一時
会場 町民体育館
前売券
・一般券 二、〇〇〇円
・学生券(高校生以下) 一、〇〇〇円
△当日券は各五〇〇円増
主催
・小須戸町
・小須戸町中央公民館
共賛
・小須戸町農業協同組合
・小須戸町商工協同組合
・小須戸町商工会
・小須戸スタンプ



老連が中学校へ一日入学

頭はしつかり、手足がチヨット?

十月二十三日、老人クラブ連合会・全体学習部が小須戸中学校に学校参観を兼ねて一日入学を行った。

参加者約九〇名、当日は三階図書室に集合、次の日程で行われた。

一、あいさつ
老連会長 三浦保
中学校長 中野余男

二、施設見学
体育館、特別教室
武道館、プール

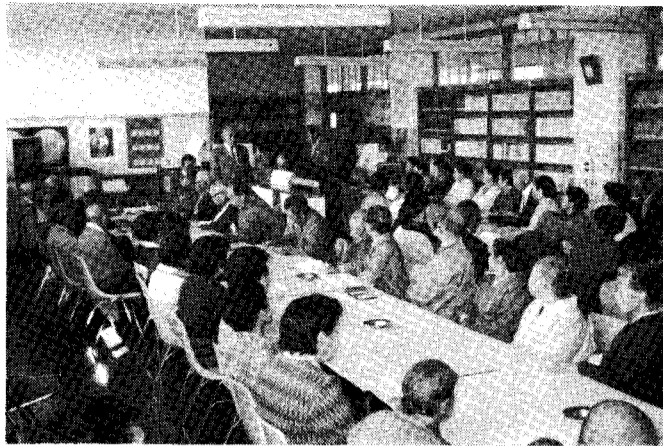
三、学習活動
社会、体育、音楽、美術

四、給食
米飯給食、休憩、中学校ブラスバンド演奏

五、教育講話
中学校長

六、質疑
七、解散

学校概要説明のあと、秋晴れの朝九時三〇分から午後三時までの一日入



学は、施設見学から始まり、孫の通う中学を一巡する。とくに本年度新築された武道館、プールや温風設備のある体育館などの説明を聞き驚きの声と共に、恵まれた施設と環境に感心していた。授業は四教科、社、体、音楽で始業のベルに参加者は各教室に分散した。

一、社会科 図書室
安藤雄治先生
生徒二十五名(男二二、女三)

衆院選挙が終ったばかり自民党が辛くも過半数をとった選挙戦の状態の中で総理大臣は、政治はどうなるだろう、大平さんは、福田さんの言葉が盛んに出る。オイルショック後の日本は、この冬の灯油は、そして今後の日本は等々、生徒とはいへ明治、大正、昭和三代の過去をふまえての意見は仲々きびしく賑やか。司会役の安藤先生は時々説明やその整理におおわらわ。

二、体育(体育館)
広橋先生
生徒二十四名(男一六、女八)

びかびかのフロアリングの上、柔軟体操のあと二班に別れてボールを床に蹴り飛ばす。

生徒は井浦先生指導のもと女子学生の栄養説明盛りつけて米飯。休憩時に県内B級で優秀賞のブラスバンド演奏で軍艦マーチで昔をしのびつつ、午後教育講話に耳を傾け一日入学の幕を閉じた。

の上に転るばせて、後投げ合ったり股の下をくぐらせたりするが距離が大きくなるにつれて運動量が減って汗をかきはじめ。広橋先生の目は全体に配られながら、ギョギョニヤニヤ。

三、音楽(音楽室)
赤塚功先生
生徒一九名(男一七、女二)

ひさびさのピアノ伴奏に生徒は胸を躍らせて歌う、気がつくとその歌の方、声のおとろえ、自分勝手な小ぶしの覚え方：その中を縫って先生の美しい声が響き渡る。うっとりする頃次の講話へ。

四、美術(美術室)
城丸明男先生
生徒二名(男一六、女一)

白い紙が渡され説明のあと紙による造形美術が展開される。線を引きながら紙を折るうちに凹凸が出来て美しい影との交錯……だが紙は汚れる、線通りに指先が動かない先生の声「こんな指先がさかないとは思いませんでした。お孫さんに笑われますよ、しっかりとして下さい。」

給食は井浦先生指導のもと女子学生の栄養説明盛りつけて米飯。休憩時に県内B級で優秀賞のブラスバンド演奏で軍艦マーチで昔をしのびつつ、午後教育講話に耳を傾け一日入学の幕を閉じた。

かかとを浮かします。最初の二十歩は足を近づけた位置で、後の二十歩は足を遠くに置いた位置で行います。

(3) 体の横まげ
背中を伸ばして、左手

明るい小須戸町は

まず健康から

「町民体力づくりキャンペーン」の椅子に坐ったままできるトリム

トリムという語源は「船のバランスをとる」とか「出航にあたっての準備をする」という意味に使われていました。この意味を人間の身体に転じて、健康・体力を保持増進するための人生航路の積極的な準備にもちいるようになりしました。



職場で既成の職場体操があるところ、それを一生懸命にやりましよう。特別にないところは、次のような「三時のトリム」をしてください。

(1) 大きな背伸ばし
大きく腕を伸ばし、つもりで腕を伸ばす。

(2) かかと浮かし
坐ったまま、足踏みをすると、左右交互に、つま先は床につけたまま

(3) 体の横まげ
背中を伸ばして、左手

【青年通信】

文化祭行事に参加
無線ク、つくしんぼなど

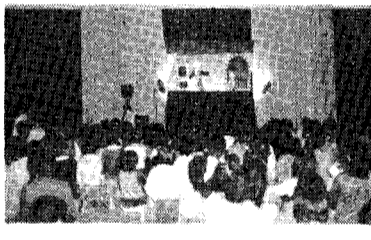
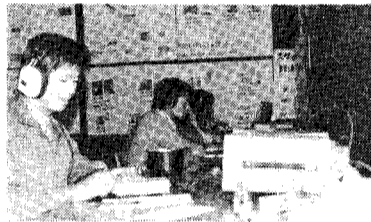
～青級が町外研修で秋山郷へ～

講習会を一月から開催すること、中央公民館内常設アマ無線局を開設することが今年最大のポイントとなる。

(写真上・記念実験局) 同サークルつくしんぼ

同サークルのメイン活動となつていく人形劇の第二弾は、だかの王様公演が去る十一月十一日文化祭行事の一環として開催され、午前・午後二回公演で計四百名以上の子供たちを集め、大成功に終わった。

前半三十分は宇宙戦艦ヤマト、YMC Aなどの



歌や踊りを行い、後半十分が人形劇という内容で、観覧者も一緒に楽しめた。有意義な一時となった。

また、これに先がけて十月十四日に行われた青年研修センターでの県下人形劇団のコンテストで堂々第二位を得た。これからの活動にますますの期待が寄せられる同サークルである。

◎勤労青年学級
去る十一月十一日に恒例の町外研修会を行い、計十名が秋山郷を訪れた。

途中、十日町で滝文工業所を訪れ、カーベットの製作やつむぎ、かすりの一つである十日町着物の一つである行灯物について研修を行った。それら津南を経て陸羽の孤島・平家落人の里といわれる秋山郷の和山に宿。

宿主の島中在田徳伊氏の秋山郷の民謡「ノヨサ節」を録音したが、人間の哀愁と働くことの喜びや悲しみを演出する素朴な人間性が胸を打つてそびえる島中山の紅葉切明け発電所、民俗資料館、見玉不動尊を訪れ研修を終了した。(親松)

全国会議に小須戸町のスポーツ少年団活動を発表

～全国スポーツ育成実験地区として～

十月二十五・二十六日の二日間、東京の日本体育協会で全国スポーツ少年団育成実験地区中央会議が行われた。

この会議は各都道府県政令指定都市から各一名参加して、次世代になる青少年の健全育成、特にスポーツ少年団活動の推進、活発化について事例発表・意見交換・協議を行うもので、五地区の一として町教育委員会、飯田スポーツ少年団、須戸町のスポーツ少年団、花と緑とスポーツで明るい住みよい町づくりを

めざしている町の姿を披露し、青少年の健全育成の一環としてのスポーツ少年団活動のこれまでのあゆみと今後の抱負について苦勞話から、エピソードを混ぜ、柔剣道場、建築やサッカー場づくりと綿密な連絡をとり、加えて町当局の理解に支えられて活発に活動していることなどを発表した。

～サッカー場の整備に役

～サッカー少年少

運動公園に新設された



分館だより
山の手文化祭
開催さる
矢代田分館

快晴に恵まれた十月二十八日、山の手文化祭が開催されました。会場は矢代田小学校が工事のため、種々の制約がありましたが、係、役員、工夫と協力により、例年なみの成果をあげることができたように思います。

約一カ月にわたる制作努力の跡がしのばれる児童の作品。

プロに近いような大人の書画、写真、コレクション。盆栽展と植木市、それに十数年ぶりの囲碁将棋大会は年配の方から喜ばれ、スタンプ付きの球場では親子ソフトボール大会は親子ソフトボール大会PTAのバザーも、当日売りは午前中売り切れという繁昌ぶり。

日和もよし、何となくはなやいだ気分。ただよる山の手の一日でした。

二ともクイズ
さあ、考えて?

つぎの問題の□の中に答えを書いて公民館へ。答え・住所・氏名・学年クラスをハッキリ書いてハガキで送って下さい。

正解者の中から五名の方に賞品をお贈りします。

一問 十一月十五日は、七〇三です。

二問 来年はいよいよ西暦一九〇〇年です。

三問 今年は何ジジヤン。来年は何ジジヤン。

前号の正解は
一問感謝 二問三三問四

抽選の結果、次の方々へ賞品をお贈りしました。

新町二 川瀬けいこ一年
矢代田 佐藤 由香三年
新町三 渡辺 淳也
木町一 波辺 淳也
木町一 渡辺 淳也
木町一 渡辺 淳也

新保・竜玄附近にて
我妻清作

重々と稲架木に懸る大根の苗に染り刈田昏れ逝く

中学生文芸
(文芸クラブ作品)

秋晴れにカラス舞い降り餌をつつく
小見 健雄

秋晴れに誘われて出る校庭へ
間野 英俊

秋風にゆれる小舟よ川岸に
木村たかね

秋晴れの下で小犬とかくれんぼ
坂井 潤子

秋晴れにビートルの音なりひびく
高橋美優希

秋風に乗って歌声聞こえる
渡辺 浩子

秋晴れの空にちぎれて雲ひとつ
木伏 千雪

柿の実が昔話の主人公
井上 淳子

かたすみの小さな菊が目ささそう
榎田 嗣恵

新体の横にはずらりと大菊小菊
川瀬 和美

さわやかに日ざしが部屋にさしこむ日
小林 聡子

母さんと栗の甘さがしみとおる
桑 広美

十月旬会報
小須戸町俳句同好会

オカリナを吹く少年に天高し
林 哉

十月や豆運る姿に日の弱き
秀 穂

竜胆の陽に濃くなりし道細る
富沙子

民謡のこぼしに酔いし秋の星
久 子

冬支度短く過ぎし日曜日
敏 子

すれ違ふ一枝に香あり金木犀
四 山

木犀を手に登校の女の子
栄 松

北斗七ツ数え福刈り終えて帰る
太 浪

蝙蝠の空は暮れお鳥渡る
松 山

長雨の果の木犀終りけり
香 月

乳母車静かになりて赤トンボ
虚 秋

コスモスの垣根となりて住み着きぬ
櫻 男

刈田中白鷺一ツ身じろがす
芳 人

障子貼る手に西の日のやわらかき
松 山

水倉の十尺たかく竹の春
紀 男

雁渡るわれも淡海の一旅人
蒼 山

酔ひは良し十五夜妻もほのと酔ひ
越 崎

間道や小藪彩る彼岸花
可津朋

傘ささぬるる僧衣や秋彼岸
良 遊

ミナ